

水害時の避難、内水氾濫対策、学校プールの集約化、河川敷スポーツ施設の管理等の質問がありました

質問 台風19号時、集会所と金ヶ瀬小学校が避難所になったが、集会所も垂直避難できない。学校の駐車場も冠水し、水害時の避難の仕方を示す必要がある。
回答 状況により避難所とある場所が対応できない場合があることは事実。まずは内水ハザードマップを9月以降に全戸配布する予定ですので、課題が残るようであれば個別対応をしていきます。

質問 金ヶ瀬の降水は青木堀から荒川に流れる。他からも流入がありボトルネックになっている。台風19号程度の水害が発生した場合のことを考えていただきたい。
回答 台風19号では荒川・新川の越水がありました。令和2年度から、国で荒川の河川整備を進めていますので、いくらか緩和

水害対策体制、内水氾濫対策、地域コミュニティの維持、避難行動要支援者等の質問がありました

質問 台風19号冠水時、沼辺排水場が機能せず内水氾濫が起きたと聞いている。同様の大雨時に支障が出ないようにしてほしい。
回答 荒川・新川が越水状態で、ポンプでかき出す先もない状態でした。排水機ポンプの維持管理を村田町と協定締結し、管理の在り方を明確化しました。内水対策は調整池の整備により対応していく方針です。

質問 桜町の側溝は古くて浅くて狭い。大きくして内水の際にためられるのでは。
回答 内水がはける先に余裕がないと、一定量の水ははけないため、側溝を広げても冠水する危険があります。調整池対応以外にないものと考えています。
質問 台風19号時に自家用車が水没。区が企業と契約して駐車場を確保した。町で車の避難所を企業と協定できないか。



▲冠水した小島地区

されるものと思います。ただ、越水の状況になると、ポンプではき出す先がない状態。内水氾濫に関しては、町では調整池をつくることで対応する方向で、冠水抑制として稗田前から取り掛かる予定です。

質問 町内小中学校のプールの老朽化が進む。温水プールを設置し、1か所に集約化も考えていいのではないか。他地域で進めているところがある。
回答 年間指導計画では水泳の時間は1シーズン10時間程度です。耐用年数は過ぎていますが、修

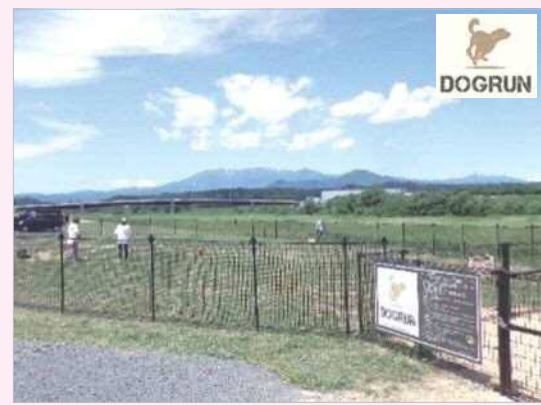
■災害協定状況(令和5年4月30日現在)

No.	種別	企業名	所在地
①	帰宅困難者受入	(株)ワカキ (グリーンホテル大河原)	字広表 48-8
②	避難所	仙南芸術文化センター (えずこホール)	字小島 1-1
③	避難所	日本基督教団 大河原教会	大谷字盛 22
④	避難所	宗教法人 安浄寺	大谷字一軒地 141
⑤	避難所	みやぎ仙南農業協同組合 (うら・さくら)	字中島町 3-4
⑥	避難所	(株)仙南建設会館	字新南 50-3
⑦	避難所	(株)八重樫工務店	字新南 20-5
⑧	駐車場提供	(株)ヒルズ	堤字五瀬 72
⑨	駐車場提供	(株)福重企画 (さくらショッピングセンター)	字広表 27
⑩	駐車場提供	(株)ケイホク (パーラービッグウェーブII)	字新南 58-15



回答 町と協定をしますと、町全体の車の避難所になりますので、区だけの対応にならなくなりま。行政区が最適と判断するその場所の企業との協定が最善と考えます。交渉時には消防防災係の仲介も可能ですので、お声がけください。
質問 区の世帯が減少、児童・生徒も少ない。高齢者は増えている。役員のなり手がいない。地区コミュニティの向上を重点的に進めてほしい。

理しながら故障なく活用しています。集約するほど老朽化が進んでいないので、現状の施設で体力向上に結び付けていきます。
質問 河川敷整備のドッグラン、MTB、パークゴルフについて、作ったら、それを管理して、安全に使えるようにしないとけない。どのように管理していくのか。
回答 MTBで土日のみレンタルによる管理をしていますが、全体については今後整備する賑わい交流拠点施設と併せて管理・運営の在り方を検討していきます。



▲白石川右岸河川敷にあるドッグラン

回答 行政区それぞれの事情を踏まえながら、区長中心に話し合いをし、コミュニティの弱体化を防いでいきたい。役場だけでできるものではなく、地域全体との連携が大切と考えます。
質問 町民レクリエーション大会で若い方々が入り、区行事をこなせた。若い人の力を借りないと区事業はできないと思つた。
回答 今大会は若い人が多かったと聞いています。新しく住まれたかたは若い世帯で、区行事

質問 白石川に中州ができた。水位が尾形橋まで上がったことがあった。左岸の側面がえぐられている状況。河川の川底の浚渫(土砂のすくい取り)が必要である。
回答 川底の浚渫は県に要望中ですが、県負担として右岸河川敷整備が先になっています。川底の浚渫に係り、防災だけでなく、河川敷活用、リパースポーツ、白石川連携など総合的な政策を示しながら要望を続けていきます。



▲町民レクリエーション大会 若い世代が多く参加しました

に参加があれば新たな広がりが出てきます。行政区事業の進め方について相談がありましたら、可能な限り対応してまいります。
質問 避難行動要支援者の中で、自分で行動可能な方もいる。実際の活用を踏まえ、実効性のある登録者としていくべき。
回答 要支援者登録には民生委員の力をお借りしています。実効性があるよう、登録時、ヒアリングにより避難行動の確認、また広報紙により周知していきます。
質問 防災士資格者が多くなってきたが、横のつながりがない。防災士同士の情報交換の機会を設けてほしい。
回答 各地区にいる防災士や自主防災組織のリーダーを含めた研修会を開催して、地域の防災力を高めてまいります。